

高校生の就職状況、就職指導・進路指導、キャリア教育

1. 自己紹介

- 昭和56年4月 東京都立高等学校（全日制・普通科）に勤務
全日制・商業科 定時制・総合学科 全日制・進学校 を経験
- 平成5年頃～ 全国高等学校進路指導研究協議会 教材開発委員会に所属
『高校生の進路ノート』『キャリアノート』等
進路学習教材の開発を手掛ける

2. 高校生の就職状況、就職指導・進路指導、キャリア教育

(1) 商業高校の経験（昭和63年～平成11年）

- ① 90%の生徒が就職 5%の生徒が指定校推薦で大学進学 5%の生徒が専門学校進学
「経済社会の下支えをする生徒を育てる」
- ② 入社試験に合格させる指導
・企業情報の収集 ・一般教養 ・適性検査 ・履歴書 ・面接
職業人としての生活を全うさせる指導
・自己理解と職業適性 ・将来設計

(2) 総合学科高校の経験（平成12年～平成19年）

- ① 70%の生徒が、小・中学校時代に不登校を経験
「生徒を将来の納税者に育てる」
- ② 基礎基本の学力の育成とコミュニケーション能力の育成
キャリア教育＝職業生活を通して自己実現できる生徒の育成
自己理解と職業理解を経て勤労観・職業観を育てる
ワークキャリアとライフキャリア
・科目「産業社会と人間」 ・キャリア教育のための学校設定科目
・ロータリークラブによるインターンシップ ・「私のしごと館」への研修旅行
・ハローワークのジョブサポーター ・NPOのキャリア教育コーディネーター

(3) 進学校の経験（平成20年～平成21年）

- ① 100%の生徒が大学進学
「第一志望の進路実現を果たせる生徒を育てる」
- ② 受験指導
学ぶ意欲を引き出す指導
・大学の授業聴講 ・職業人講話 ・オープンキャンパス ・卒業生との懇談会

(4) 課題

- ① 教員がキャリア教育に専念できるゆとりの確保を
・教員の力量で、外部の教育力が活用できる
・有能な教員がその能力を発揮できる環境づくり
・教員へのキャリア教育推進の研修
- ② 普通科高校、特に進学校におけるキャリア教育への意識変革を
・「国公立〇人合格」の壁
- ③ 新たな産業・雇用の創出を
・発達障害を含む障害のある生徒の雇用